



1期生のあいさつ



「田高の昔と今」のビデオ上映



思い出の先生を囲んで



ピンゴゲーム大会

# 臨時紙上総会開催

平成七年七月八日に行われ  
ました平成七年度総会に於きま  
して「会則改正」の議事が承認さ  
れ「三冊」(総会報告)ご参照下  
さい。これに伴って現在名誉会  
長不在の状況にあります。総会  
以後暫定的に、前任の学校長が  
代行という形をとって参りまし  
たが、この三月末日をもって退  
職となりました。月日会幹事  
会はここに臨時紙上総会を議開  
し、次の方々を推薦致します。

名誉会長  
会計監査

家入正男氏  
大蔵正人氏

を推薦します

「名誉会長(二期)  
家入正男氏  
(現 会計監査)

「会計監査(二期)  
大蔵正人氏  
(現 会計委員長)

伴っての会計監査の欠員によ  
ります(会則第三章第十二条  
第二項)  
大蔵正人氏は其年会計委員長  
を務めて頂きます。  
右案件につき、同封の返信票  
書をご返送下さい。五月十五日  
消印有効。返信なき分は賛成委  
任とみなし、過半数の賛成をもち  
て承認されたものといたします。  
(会則第三章第(四)条)  
会員各位のご理解とご協力を  
お願い申し上げます。  
幹事会

四月九日 入学式  
新入生 47期生  
二百三十五名の誕生

第47回の入学式が挙行されま  
した。筆曲部(指導17期)上藤  
乃里子さん二のお母の演奏で、  
胸に樹の校章を今年度より月日  
会で贈呈。つけたういういしい  
後輩の入学があり、感動しま  
した。  
おめでとうございます。



発行所  
都立田園調布高等学校  
同窓会 月日会  
都大田区田園調布南27-1  
電話 (3759) 4346  
発行人 田中博隆  
編集責任者 荒尾福祐

内容  
古川稀久校長先生ご退職  
名誉会長に家入正男氏推薦  
一九九六年度版名簿発行  
主 ぼろにあ祭参加等「幹事会報」



サンクスアロット  
第11代校長 古川稀久



第12代学校長に  
着任しました  
学校長 吉田秀男

古川校長先生の後任として、  
都立四高から参りました。私  
は以前、大田区雪谷に住み、池  
上本門寺、九子多摩川、二子多  
摩川など、本校周辺を遊び回っ  
ていました。  
かつてのふるさとに戻ってあ  
たという懐かしさがあります。  
本校は、文教地区にあり、教育  
環境もめくまれた学校だと思  
います。  
本校の「層の発展のために居  
くしていきたい」と思っています。  
同窓生の皆様にもどうぞよろし  
くお願い致します。

## 新名簿発行間近

昨秋に発行を予定しておりま  
した月日会名簿が会則の改正や  
住所調査が思うように進まな  
かった事などの事情により発行が  
大幅に遅れてしまひ多くの購入  
希望者の方々に、御迷惑をおか  
けいたしました事をお詫び申し  
上げます。  
さて、肝心な名簿の事ですが、  
昨年の段階では四十三期生まで  
の予定でしたが、四十四期生ま  
で掲載する事が出来るようにな  
りました。その他の点では特に  
変わった事はありませんが、皆  
様の御期待に応えられる内容に  
なるように努力して頂きます。  
購入希望者の方々にはもう少  
しお待ちください。よろしくお  
願い致します。  
尚、名簿購入希望を出してい  
ない会員の方は、左記へ電話ハ  
ガキでお申し込み下さい。  
〒145 大田区北千束  
三二二四一  
フロム建設株内  
月日会名簿係

## 多摩



私が田高在学中、ずっと考え  
ていたこと。  
沼津駅を降りたら、あの急な  
坂道を登りきると、下には横須  
賀線が通っています。横須賀線  
の車窓から田高の校舎やテニス  
コートが見えるのです。私は、  
その時ふと考えました。横須賀  
線は通っているのに、何故駅は  
ないのだろう、と。私は横須賀  
線沿線に住んでいるのですが、  
在学中ずっと田高の目の前に横  
須賀線の駅があればいいのに、  
と考えていました。ここに駅が  
あれば今まで三十分位の通学時  
間がたった十分位に短縮できる。  
あの急な坂道を毎日歩かなくて  
済む、など様々な事を考えたち  
のです。結局、夢は夢で終わっ  
てしまいました。  
こんな事を考えながら通学し  
ていた田高を卒業して早いもの  
で一年がたとうとしています。  
在学中は部活動に明け暮れ、ほ  
ろにあ祭や体育祭というところ  
懸命になり、このような環境の  
下で人々と接して時には悩み、  
時には励まし合いながら成長し  
て自分自身を磨いていった三年  
間。卒業して自分の決めた進路  
に向かって歩んでいる段階です。  
三年間という短い間で何を吸  
収したのだろうか。自分ではわ  
かりませんが、高校時代でしか得  
られないもの全てが支えとなっ  
ているのではないのでしょうか。  
桜が咲く春には、田高に新入  
生も入学し、新しい出会いの訪  
れです。田高が成長していくと  
共に私達も成長していくのだろ  
うと思えます。



# 新名簿発刊を機に 新たな飛躍台にたつ

会長 田中博隆 (6期)

三月十三日に第44回の卒業式が行われ、二百五十二名の新大員を迎えました。ご卒業おめでとうございます。会員総数一万二千四百十八名の大きき組織となりました。

昨年七月八日、赤坂プリンスホテルにて、平成七年度の同窓総会が盛況に開催出来ました。ことをお礼申し上げます。

同窓会の原点は、卒業生のつながりです。総会には大勢集まれるようにねばなりません。会員の方々が頑張ってくださると思ふようになります。名簿づくりや、会報づくりは、がんばる以外ありません。同期会、クラス会、クラブOJ会などに連絡をとって輪を広げようとしています。

会員のネットワークの整備と強化することが課題ですが、

## 幹事会活動報告

幹事長 林 和 紀

昨年平成7年度総会をもって前幹事長が退任し、33期 林和紀が再任致しました。

今後共々よろしくお願い致します。さて、月日会の平成7年度の活動内容を以下の表にまとめましたのでご報告致します。

五月の新幹事受け入れに始まり、7月の月日会総会開催、9月のほろにあ祭参加とイベント



ほろにあ祭

それには、同窓会に関心をもちたい。年費を納入していただくことが会の活性化につながると思います。平成七年度は、七百名近くの納入者があり、通信可能会員の10%位までになりました。今年新名簿作成に当たり、多大な時間と労力をかけていますが、きつと通信可能会員がこれで一万名近くになると期待しています。もうすぐ我が月日会も五十年の歴史を重ねようとしているわけですから、幹事会も改革して、新しい出発をしたいと思ひます。ここまで同窓会を続けてきたのですから、



右端会長と6Dの級友

昭和45年度に建設された現在の体育館が老朽化に伴い解体され、陸地に新しい体育館が建設されます。都財務局では田中、西野設計事務所へ設計を委託しました。

今年から新たな飛躍台にたつつもりで、皆さんと意見交換をして、会員の期待に応える会にしたいと思ひます。それにしても事務局が出来るまでには、まだまだ体力がありません。会員の皆様のご支援をよろしくお願ひ致します。

トの多い年でした。又、秋旅行予定の名簿も半年遅れとなりましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

次に今後の活動方針をご説明致します。

Table with 2 columns: 活動内容 (Activity Content) and 平成7年度月日会活動報告 (Report on the activities of the monthly meeting in Heisei 7). Rows include 40期新幹事受け入れ, 平成7年度月日会総会報告, etc.

### 田園調布

財団法人  
新理事長に月日会会長6期  
田中 博隆氏  
理事に副会長11期  
鈴木 洋子氏  
評議員に副会長26期  
川上賢一郎氏 就任

整備の終わった多摩川グラウンド

### 清流会の活躍

PTA・OB会  
同窓会にも15名参加

母校ほろにあ祭でのバザーに協力されたり、財団法人「田園調布」の理事メンバーを出され、母校の発展に協力下さっています。田園時代のPTA活動そのままに、田園を愛しています。

### 会計報告

平成7年度 会計報告

収入	支出
前年度繰越金 2,839,052	幹事会費 388,406
年会費 1,387,790	通信事務費 76,186
卒業生入会金 1,300,000	備品費 0
総会費 1,705,000	報発行費 1,379,147
名簿売上 2,000	名簿編集費 145,415
銀行利息 1,818	総会(準備)費 2,304,424
寄付 169,000	ほろにあ祭参加費 35,985
	卒業生記念品費 53,560
	他田園調布寄付 50,000
	支出合計 4,433,123
	次年度繰越金 2,971,357
合計 7,404,660	合計 7,404,660

平成8年度 予算案

収入	支出
前年度繰越金 2,971,537	幹事会費 350,000
年会費 1,200,000	通信事務費 100,000
卒業生入会金 1,260,000	備品費 100,000
総会費 0	報発行費 1,560,000
名簿売上 0	名簿編集費 100,000
銀行利息 3,000	総会(準備)費 100,000
寄付 150,000	ほろにあ祭参加費 50,000
	卒業生記念品費 60,000
	新入生記念品費 80,000
	他田園調布寄付 50,000
	支出合計 2,550,000
	次年度繰越金 3,034,537
合計 5,584,537	合計 5,584,537

### 会計について

会計のお手伝いを始めて3年目となりますが、毎年、年度末になると通帳の残高が気になります。とくに前年度は総会が久し振りに行われ支出もそれ相当のものとなりました。

最近卒業生の数が若干ながら減少傾向にあり、今までは卒業生入会金が値を占めていたものが、これからはますます会員の皆様のご協力が重要度を増していくと思ひます。

会計としても今まで以上に無

### 会計報告

平成7年度分の月日会収支は表記の通り決算致しましたのでご報告申し上げます。

平成7年度の会計報告については選法かつ妥当であることとを認めます。

あらためて次回総会で報告いたしますが、先に会報でお知らせしておきます。

会計監査 家人 正男(1期)  
原 雅裕(29期)



# 「田高精神」脈々と

田高社会科教師(二十九期) 森 晋一郎

「九期生として田高を卒業し、昨年四月に社会科の教員として、常連にも田高に復帰することができました。」

当時と比べ、校舎もすっかり新しく生まれかわり、小さいながらもグラウンドもあり、ずいぶんと様子が変わりました。生徒の様子もかなり変わったようですが、田高の自由な精神は脈々と受けつがれていきます。先生方もすっかり入れ替わってしまいました。この五十周年の伝統を尊重され、日々熱心に指導にあたられています。

さて、本校は三年後の平成十一年には、創立五十周年を迎えます。五十周年記念行事については、まだ内容など未確定ですが、学校行事とはいえ、月日会の協力が是非とも必要になります。記念誌の編集ひとつをとっても、月日会の収集してきた資料を活用していただくことで、負うところが大きいと思います。

この伝統を側面から支えているのが月日会活動です。昨年度、幹事長以下、幹事会のメンバーが一新され、月日会も新体制がスタートしました。特に、ほろにあ整への参加は好評で、田高に関する古いビデオの上映などは、来校した同窓生の間で大きな話題となりました。

創立五十周年に向けて、月日会も新体制のもと、さらに活発な活動がすすめられています。

ところで、田高を卒業し、都立高校に勤務される方が多くいらっしゃいます。以前田高でも教壇をこられた、寺久保先生、森(田高江頭)先生をはじめ

が増えると言っているが、これは反対派の妄想だと思ふ。なぜなら今の若い人達は姓名がわからないと言っても過言ではない。僕自身も姓名についてはこだわりはなく、結婚については姓名の問題で結婚を止めることはない。昔はちがうかもわからないが、そのことで自分を決めてしまふのは悪かたことと思ふ。

合は同姓だから離婚できないと言ふことだろうか、それはちがうだろう。離婚とは結婚した相手ともう生活ができないと言ふ状態になった時が多数を占めていて、そこに姓名の問題が中心となるならば、結婚そのものが問題である。

だが同姓にするとは精神的な結び付きが強まることはあるだろう。そういう人は同姓のままにすればよい。別姓にしないのはならないと言ふわけではない。第二に韓国や中国は昔から別姓なので、別姓にするとは離婚が増えると言ふのはおかしいだろう。再度述べると結婚は精神的な結び付きなので、同姓・別姓とは次のような問題である。

次は子供の問題であるが、親が別姓であると子供が混乱すると言ふ人がいるが、子供にとって同姓であれ別姓であれ親は親である。

ただしここで問題がある。子供の姓をどうするかである。場合によっては子供の都合がわるかもしれない。政府は別姓案を押し進めているがまだ問題があることも否定できない。国民が納得するまでしっかりと慎重に対応することを望んでいる。

私が20代の公務員だった時、古奥から出たというやきもの、真偽を明らかにするといふ鑑定という仕事をすることがあります。

それまで、やきもの年代を調べるには、土や釉薬の成分を分析しなければならぬといわれていました。新しい非破壊検査法という技術で、貴重なやきものを傷つけず結果を出すことができました。

科学的証明ということとは、とさには時間がかかることである。

私が20代の公務員だった時、古奥から出たというやきもの、真偽を明らかにするといふ鑑定という仕事をすることがあります。

最近新聞の投稿欄に夫婦別姓についての記事が多数出ており、それぞれに對してさまざまな意見が掲載されています。

僕自身は姓は自由でいいんじゃないかと思つていたが、経理府世論調査で夫婦別姓について反対が五十二・四%と過半数を超えており、色々と考えさせられることだった。

そこで今回夫婦別姓について書こうと思ふ。

まずなぜ夫婦別姓案が出てきたか、それは個人の尊重と同姓による問題の解決と思ふ。後者の同姓による問題とは、家や姓名を継いで欲しいなどである。僕は昔のことだと思つてはいたが、今も家や姓名を継ぐ継がないなどで結婚反対されるという話もある。今回は反対派の意見を中心に書く。まず反対の意見のほとんどが別姓にするとは離婚や離婚



最近新聞の投稿欄に夫婦別姓についての記事が多数出ており、それぞれに對してさまざまな意見が掲載されています。

僕自身は姓は自由でいいんじゃないかと思つていたが、経理府世論調査で夫婦別姓について反対が五十二・四%と過半数を超えており、色々と考えさせられることだった。

そこで今回夫婦別姓について書こうと思ふ。

まずなぜ夫婦別姓案が出てきたか、それは個人の尊重と同姓による問題の解決と思ふ。後者の同姓による問題とは、家や姓名を継いで欲しいなどである。僕は昔のことだと思つてはいたが、今も家や姓名を継ぐ継がないなどで結婚反対されるという話もある。今回は反対派の意見を中心に書く。まず反対の意見のほとんどが別姓にするとは離婚や離婚



総会にご出席の先生方

## 総会報告

平成7年7月8日、平成7年度総会が開催されました。今回の総会は赤坂プリンスホテル別館グランドホールでの開催となり、従来の田高などでの総会とは異なる盛やかな雰囲気で行われました。

出席者二百二十余名の多数の参加で大盛況でした。6期、43期が16名ずつで最高でしたが、13期、16期、21期、30期、32期の参加がなくなり残念でした。

今回のメインは会則改正の議事でしたが、賛成多数で問題なく可決され承認されました。会則改正は左に掲載されていますので皆様目を通しておいて下さい。

総会には従来通りに前半で議事が行われ、後半は懇親会が立食パーティーの形で行われました。議事では、名譽会長古川稀久校長よりご挨拶を頂き、田園調査(38期)の進行で小西正晃さん(37期)より時事事業報告、熊谷和巳さん(38期)より会計報告、そして小西正晃さんより会則改正がありました。また、後半の懇親会では、エレクトーン演奏が流れる中、和やかな雰囲気で開催されました。ホールの片隅では「田高の昔と今」のビデオ

総会にご出席くださいました先生方をご紹介します。

清成 翠 船本 浩義  
寺島 甲祐 内藤 隆  
前田 徹 吉川 稀久  
浅野 祐治 市川 直晴  
内田 勉生 大関 一男  
岡田 哲朗 奥田 亮一  
小田原玲夫 本野 美幸  
豊徳 孝 今 淳治郎  
清水 孝彦 田中 行義  
寺久保 勲 豊田 岩男  
長沼 康子 久住 幸雄  
平田隆太郎 冬城 照夫  
村山 アキ 山崎 利郎  
山下 良章 濱道 彰  
森 晋一郎

## 月日会会則

- 第1章 総則
- 第2章 役員
- 第3章 総会・役員会
- 第4章 本会は原則として毎年一回総会を開く。
- 第5章 第5条第2項、第3項及び第6項に補つて、名譽会長、会長及び会則監査の選出
- 第6章 常任幹事会は会則第5条第3項、第4項、第5項、第6項及び第7項に依り選出された常任幹事若干名を以つて構成する。一、会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計委員長、会計委員、常任幹事、書記、会則監査
- 第7章 名工や名匠というものは、上や百や木の中に潜む万物の形を、一番ふさわしい姿でとり出す力を持つた人ならだともいいます。削り出された本物と、来る日も来る日も真剣に向き合つていくことは、決して楽な作業ではないと思ひます。
- 第8章 美術、工芸品だけに限らず、毎日の生活の中で本物の厳しさに真正面から取り組んでいく努力は、新しい世界に挑戦する新人だからこそやり甲斐があることではないですか。

## 月日会役員名簿

名譽会長	田中 博隆 (6期)
会長	船本 淳子 (11期)
副会長	村上賢一郎 (26期)
会則監査	家人 正男 (1期)
書記	原 正祐 (29期)
副書記	大蔵 正人 (8期)
幹事長	林 雅紀 (33期)
副幹事長	柴山 英樹 (43期)
書記	丸山 裕子 (43期)
副書記	寺久保 勲 (4期)
幹事	深瀬 祐昭 (10期)
	木村 繁 (27期)
	内田 薫 (31期)
	安達ゆう子 (35期)
	小西 正晃 (37期)
	久保井昭友 (38期)
	熊谷 和巳 (38期)
	宇津木 朗 (38期)
	吉川 泰史 (38期)
	小島 武士 (39期)
	斎藤 純久 (39期)
	小林 弘典 (39期)
	川上 勉 (43期)
	林山 雄紀 (43期)
	荒尾 陽祐 (43期)
	高橋 千佳 (43期)

## 本物と出会う努力

都立田園調布高校PTA会長 後藤 至弘

私が20代の公務員だった時、古奥から出たというやきもの、真偽を明らかにするといふ鑑定という仕事をすることがあります。

それまで、やきもの年代を調べるには、土や釉薬の成分を分析しなければならぬといわれていました。新しい非破壊検査法という技術で、貴重なやきものを傷つけず結果を出すことができました。

科学的証明ということとは、とさには時間がかかることである。

私が20代の公務員だった時、古奥から出たというやきもの、真偽を明らかにするといふ鑑定という仕事をすることがあります。

それまで、やきもの年代を調べるには、土や釉薬の成分を分析しなければならぬといわれていました。新しい非破壊検査法という技術で、貴重なやきものを傷つけず結果を出すことができました。

科学的証明ということとは、とさには時間がかかることである。

## 幹事募集

幹事名簿をご覧になってお分りかたりますが、現在の月日会活動は、若手中心となっております。又人数も以前より激減が著しくなっております。幹事一同一丸となって月日会の立て直しに励んでおります。私達の同志となり手伝って下さる方々のご連絡をお待ちしております。

以前幹事だった人、高校時代を思い出したい人は「一輪」を!!

副会長 川上 賢一郎  
連絡先 0300686657

幹事長 林 和紀  
連絡先 03008135924

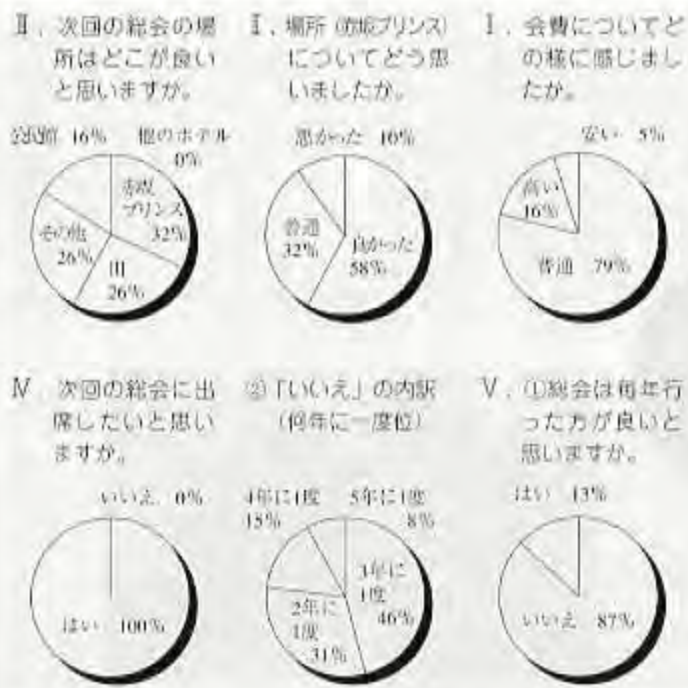


# 次回の総会に出席したい

## ・・・100%



「次回の総会に出席したい」という声が多かった。その結果を報告致します。



また、「ご意見を多数頂いておられますので、さらにも掲載させて頂きます。」

▼同期会を開いている期もあるため、その幹事に連絡して呼びかけたら、多くの出席者がありそう。同期で会いたいという声が多かった。

(15期 Tさん)

▼友人とお会いしたトクンにある時に、あれ、とても楽しい時間でした。

(6期 Sさん)

▼当日の参加者名簿を配布してほしい。

(9期 Oさん)

▼会費も会場も、もっと気軽に打てるようにしてほしい。

(不明)

▼先生方に時時とか民謡などお聞かせ頂いたら楽しいのでは。

(1期 Sさん)

▼毎月の場所を設定すれば、自分達の前後の期の人達の期を探るのが楽。

(?期 Iさん)

▼話が出来ないのでは音楽は生ではなく、静かにバックに流して欲しい。

Iイベントをあの場で何故しなくてほならないのか。するならば時間をとらぬものにして欲しい。貴重な時間を奪われて不愉快。名刺交換的にゆったり出来る場を作って馬鹿騒ぎは別にすれば良い。

(10期 Yさん)

▼今回は出席できませんでしたが、月日会がいつまでも続くことを祈っています。幹事の方は大変でしょうが、よろしくお願い致します。

(23期 Sさん)

▼50周年を迎えて下さい。楽しみにしています。

(9期 Mさん)

## 室伏幸男先生の御冥福をお祈りします

平成元年まで田高で三十五年間、園通と書道のご担当をなされておりました室伏幸男先生が一月十三日七十歳でお亡くなりになりました。

同窓会にはいつもご出席くださいました。そのお姿を拝見できなかったり、ほんとうに淋しいことです。

「月日会会報」の題字は、同窓会10周年を記念して、先生が筆をとってくださった。この



それから長くこの題字を大切にさせていただきます。

生徒会でのご指導、そして、いつも同窓会を愛して下さり、長くご指導をいただきました。

35年間の田高時代の最後の卒業式を大田区民会館で迎えた日、式典の間も舞台裏で筆を用意され、もし卒業証書の名前が違っていたら書き直すつもりでここにいたのだとおっしゃっていられた先生。ほんとうに卒業を祝

が、月日会がいつまでも続くことを祈っています。幹事の方は大変でしょうが、よろしくお願い致します。

(23期 Sさん)

▼50周年を迎えて下さい。楽しみにしています。

(9期 Mさん)

以上の様な御意見を頂きました。総会に出席して下さいました皆様、アンケートに御答え下さった皆様には、この場を借りて御礼を申し上げます。御協力ありがとうございました。

これからも、50周年総会に向かって幹事一丸となり頑張っていきますので、皆様ご支援の程をよろしくお願い致します。

## 教職員異動

- | 退職者  | 異動先       | 教科目 |
|------|-----------|-----|
| 古川伸久 | 慶応大学 (校長) |     |
| 歌田久彦 | 新宿山吹      | 国語  |
| 荒川隆秀 | 白團        | 保健  |
| 山川均子 | 千歳        | 工作  |
| 中村昌則 | 下水道局      | 工作  |
| 石垣忠夫 | 雪谷        | 工作  |

## 転入者 前任所属 教科目

- |      |     |     |
|------|-----|-----|
| 吉田秀男 | 西   | 校長  |
| 藤田隆  | 井草  | 国語  |
| 小野村浩 | 秋川  | 国語  |
| 加藤修弘 | 八潮  | 日本史 |
| 小林孝行 | 一商  | 保健  |
| 木戸強  | 新山吹 | 仕事  |
| 堀田淑子 | 北   | 工作  |
| 西村由美 | 南   | 仕事  |

## 同窓会に出席して

ほぼ10年ぶりくらいに友と逢い、なつかしい先生方にもお逢いでき、私にとって大変楽しい同窓会でした。

子供も手が離れ一上の息子は21才。仕事も少なくなり、今は自分の時間も多くとれる様になり、いい精神状態で毎日を送っています。実家が先口親の方にあるので、時々田高近くに出向くので、機会があったら月日会のお手伝いをさせて頂きたいです。

若い方達が太いに活躍してい

## 投稿募集

会報の内容が充実のために、皆さんからの投稿を大募集致します。田高のこと、会報の記事に関するご意見、また最近の社会状況、テレビ番組に対するご意見、ご感想をテーマは自由です。どしどしお寄せ下さい。

投稿される方は、住所、氏名、電話番号、期、職業を明記の上、封書にて左記宛へ郵送下さい。匿名希望の方はその旨書き添えて下さい。

〒145 田園調布郵便局私書箱19  
田園調布高校月日会 投稿係

## 文化祭バザー 献品のお願い

昨年も同窓会がお手伝いしたPTAふれあいバザー。当日の販売に限りず価格付、献品にと参加しました。

残念ながら同窓会からの献品は幹事から若干と会員の方から二品だけでした。

本年も同様献品をお願い致しますので、ご家庭に不要品、珍品、奇品がございましたら事務局へお送り下さい。(お払い可)



にぎわうバザー会場

## 編集後記

○創刊から17号まで、長い道のりでしたが、会報の果たす役割は大きかったと思います。同窓会を築き上げていただき、年費を納めてくださることをお願いいたします。

6期 田中 博隆  
○浪漫を求め夢を追い続けて幾星霜。気分はまだまだ田高生！

11期 鈴木 洋子  
○往復手二百キロはかなりキツク、しかし、また行く。

26期 川上賢一郎  
○課長が田高OBのE氏。給料が上がると思いが？

33期 林 和紀  
○オバさんパワーのご協力をよろしく申し上げます。

38期 熊谷 和巳  
○逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。

38期 吉川 泰史  
○今年からは社会人になります。頑張るぞっと。

39期、小林 弘典  
○大変良かったです。

43期 川上 勉  
○私はいいですよ。用事があるので帰ります。

43期 丸山 裕子  
○田高と縁が切れずにはまた一年。トホホホ……

43期 荒尾 陽祐

- 皆様からの「ご運命を」お待ちしております。
- バザーの献品、近況報告、幹事会への参加、たすね人、同窓会活動の提案等々
- 〒145 田園調布郵便局私書箱19  
都立田園調布高校同窓会 「月日会」行
- 〒145 大田区北千束三上二四二一  
フロム建設部内  
月日会事務局 行
- 面〇三〇一〇六八六六五七  
面〇三〇一〇八二二五九二四  
幹事長 林 和紀